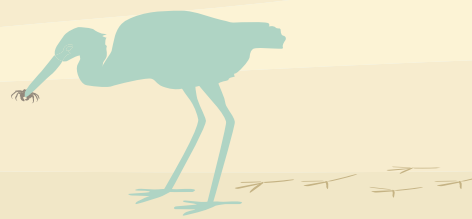


# なぎさ NEWS



## 2016年 この1年の「西なぎさ」

2016年の地曳網調査の結果は下の表のとおりです。エドハゼ、ピリンゴなどおなじみのハゼ科の魚に加え、6月にトラフグが57尾も採集されました。一度にこれほどの数が採集されたのは初めてです。もしかしたらトラフグが東京湾で自然に繁殖しているのではないかというニュースがあり、この地曳網調査の結果も紹介されました。速報ですが、今年2017年6月にも少数ですがトラフグが採集されています（右写真）。生き物調査では、例年どおりコマツキガニ、オサガニが多く観察されました。春には、「西なぎさ」では珍しいクロツラヘラサギが観察されています。また、前号で紹介したイワムシもししばしば観察できました。



今年2017年6月9日にも2尾を採集

### 【2016年地曳網調査結果】

分類		2月	4月	6月	8月	10月	12月	合計尾数
		水温(℃)	11.2	17.5	20.5	31.6	19.0	
	塩分(%)※1	29.8	17.6	30.6	15.0	25.5	31.4	
ニシン目	サッパ					9		9
	コノシロ			51	1,071			1,122
キュウリウオ目	アユ	3	6				3	12
ボラ目	ボラ		215	30	1			246
	メナダまたはセスジボラと考えられる仔魚		1					1
トウゴロウイワシ目	トウゴロウイワシ				4			4
トゲウオ目	ヨウジウオ					1		1
カサゴ目	マゴチ				9	2	1	12
スズキ目	スズキ		319	1				320
	シロギス					1		1
	キチヌ					2		2
	クロダイ			23				23
	ナベカ属の一種の仔魚				4			4
	ヒモハゼ	1		4	13			18
	ミミズハゼと考えられる仔魚		13					13
	マハゼ		215	370	10			595
	マハゼと考えられる仔魚	2	82					84
	アシシロハゼ	12	2	8	7	15	10	54
	シモフリシマハゼ				17			17
	シモフリシマハゼと考えられる仔魚					1		1
	チチブと考えられる仔魚			4	25			29
	チチブ属の一種と考えられる仔魚			14	820	5		839
	ヒメハゼ	2	2	1			1	6
	スミウキゴリ			1				1
	ウキゴリまたはスミウキゴリの仔魚		186					186
	ニクハゼ		2	1				3
	ピリンゴ		4,830	1	1			4,832
	チクゼンハゼ			2				2
	エドハゼ	5	411	4,533	14		2	4,965
カレイ目	イシガレイ		2					2
フグ目	ギマ				16			16
	トラフグ			57				57
合計尾数		25	6,286	5,101	2,012	36	17	13,477
種数(種)		6	14	16	14	8	5	32※2

※1 普通の海水の塩分は34%ほどです。雨の多い季節などは川から淡水が多く流れ込むため、薄まって値が低くなります。

※2 種がはっきりしていない仔・稚魚も、一種として数えています。